

免疫のお話『アナフィラキシー』編

アナフィラキシーが起こったときの対処法

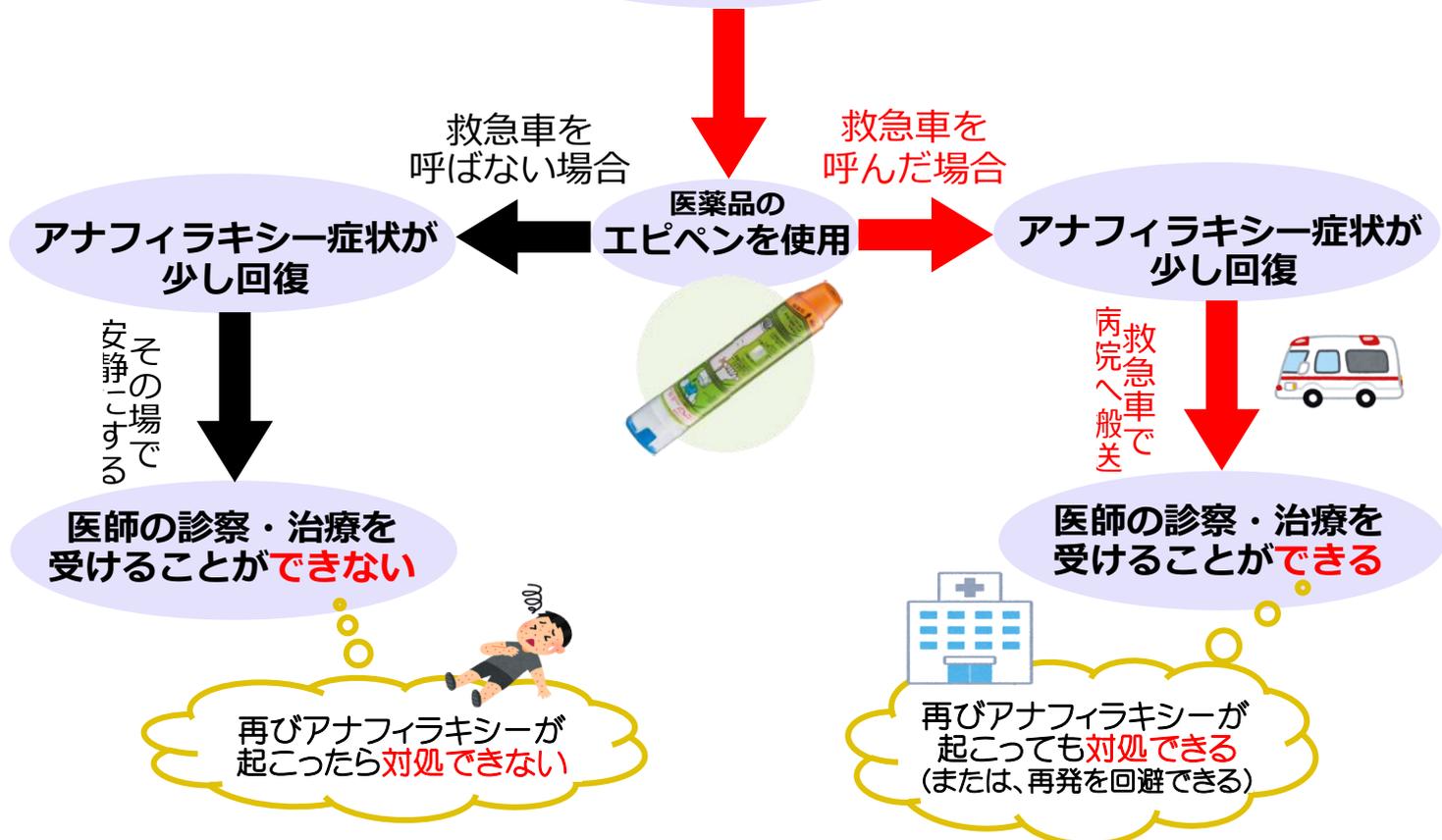
< アナフィラキシーとは >

- ・原因物質が体内に侵入後、5~30分で全身に症状が出る強いアレルギー反応のこと
- ・食品、ハチ毒、医薬品などが原因で起こることが多い



< 症状(複数同時にみられます) >

- ・体中に赤み、ぶつぶつが出る
- ・くしゃみや強い咳が出る
- ・顔が青白くなり、立ってられない
- ・ゼーゼーする呼吸
- ・腹痛、吐き気 など



アナフィラキシーは、医薬品のエピペンを使用した後も、再び起こることがあります。エピペンは、あくまで病院へ搬送するまでの時間を稼ぐためのものです。そのため、エピペンを使用した後は**すぐに救急車を呼び、病院へ搬送する必要があります。**

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 出張相談会 保健室に学校薬剤師が来ます 》
 ドラッグレターの内容、医薬品や健康、薬物乱用などについて、相談・聞きたいことがある人は保健室まで！
 12月16日 12時30分～13時10分

作成・発行元 北陸大学薬学部
 准教授 大柳賀津夫(学校薬剤師)
 講師 岡本晃典(薬剤師)
 6年生 村中佑晟・木山美佳

